



町長コラム ベア・パル



MORIZOさんからのお礼状

「今回の利府町ラリーでは、熊谷町長はじめ行政、町内会、婦人会まで、地域一丸となった、心温まるおもてなしを頂き、感謝の気持ちで一杯ですし、私自身、利府町の素敵な景色と沿道の皆様の応援にぐっとくるものがありました。」
こうお礼状として記していただいたのは、5月のTGRラリーチャレンジ大会で出走していただいたMORIZO(モリゾウ)選手ことトヨタ自動車株式会社の豊田章男社長です。

5月14-15日に開催された「TGRラリーチャレンジin利府」はスポーツの町・利府町にとって新たな歴史の1ページを飾る大事な2日間となりました。町民の皆様のご協力なくして当大会の成功はありませんでした。本当にありがとうございます。

今回のトヨタ自動車ラリー大会誘致の意図は開会式にお話させていただきました。「本大会を「復興イベント」と捉えていて、それは、東日本大震災時、豊田章男社長が東北を「第三の生産拠点」とすると宣言してくれた事で意気消沈していた被災者の心にエンジンがかかったからであり、あれから10年、本大会を開催できるまでに地域は復旧し、その姿をご支援いただいたみなさんに見ていただきたいと思い

ました。故にコースは沿岸部に設定し、そこは風光明媚なエリアと同時に被災エリアであり、地域の皆さんが日本国内外のご支援によって立ち上がり、今まさに「創造的復興」の創造の部分に突入して地域作りをしています。毎年、どのように被災エリアが「良き変化」をしていくのか楽しみにしてほしい、今回は地域の皆さんが選手のみなさんに「おもてなし」を用意していて、コース上の協力もお願いしました。ラリーはレースと違いドライバーと助手席のコ・ドライバーが道なき道の「走り」を組み立てていく、まるで「復興の道」を組み立てていくかのような象徴的大会。是非利府でリフレッシュして楽しんでください」と結びました。

ラリーのような大きな大会を開催するまで5年ほどかかりましたが、舌足らずな町長の説明・公約にもかかわらず熱心に取り組んでくれた職員のがんばりに感謝です。またモータースポーツの普及に理解を示してくれた利府町内の皆様に改めて御礼申し上げます。

ゆたか

利府町長 熊谷 大

利府町

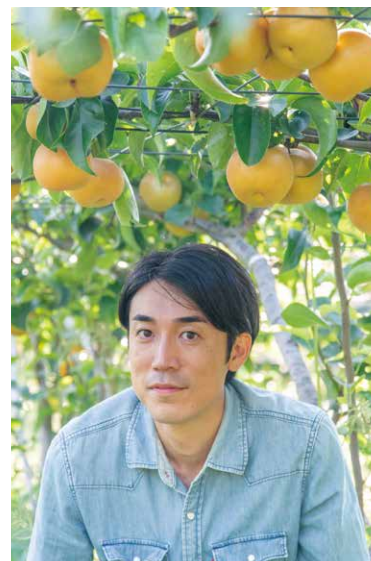
地域おこし協力隊がゆく!

No.36 甘く大きな利府梨を作る重要作業「摘果」とは？

利府梨は、5月から6月にかけて梨の実を間引く作業(摘果)を行います。複数ある実を1つの実に絞ることで、栄養を集中させて甘く大きい梨を作ります。

基本的には、軸が長く形の綺麗な実を残し、傷ついているものや病気がついている実を落としていきます。この作業は時間がかかる作業のため、町内外の皆様にもご支援頂きながら進めています。地味な作業ですが、長時間続けると「ランナーズハイ」ならぬ「テキカーズハイ」になり、気分が良くなります笑。

もし「テキカーズハイ」を体感したい方がいらっしゃいましたら、ぜひ「利府おもて梨園」にお越しください。秋の収穫まであともう少し！皆様お楽しみに！



おうみ たかゆき

地域おこし協力隊 近江 貴之 (利府梨王子)

利府おもて梨園 ネットショップ



<https://rifu-omotenashi.stores.jp/>



摘果する前



摘果した後



利府梨王子

ohmi0921

利府梨や梨カレー作りなどをブログで発信
「元新宿サラリーマンのトカイナカ暮らし」

利府おもて梨園

検索

